

第6 労働基準監督関係業務

地方公務員法第58条第5項の規定により職員の勤務条件に関しては、現業職員(労働基準法別表第1第1号から第10号まで及び第13号から第15号までに掲げる事業に従事する職員)を除き、人事委員会が労働基準監督機関の職権を行使することになっている。

1 労働基準法による事業区分の決定

職員の勤務する県の機関が労働基準法による事業区分のいずれに該当する事業であるかは、労働基準法や労働安全衛生法の適用及びその労働基準監督機関の決定に重要な役割を果たすものであるが、この事業区分は当委員会と福島労働局長がその都度協議して決定している。

(1) 平成29年度中に新たに事業区分が決定された機関及び廃止となった機関

号別区分決定・廃止の状況

区分	事業所の名称	号別区分	労働基準監督機関	新設・廃止年月日
廃止	環境医学研究所	12号	人事委員会	平成29年3月31日
廃止	小高商業高等学校	12号	人事委員会	平成29年3月31日
廃止	小高工業高等学校	12号	人事委員会	平成29年3月31日
決定	動物愛護センター(支所2)	13号	労働基準監督署	平成29年4月1日
決定	小高産業技術高等学校	12号	人事委員会	平成29年4月1日
決定	たむら支援学校	12号	人事委員会	平成29年4月1日
廃止	県中家畜保健衛生所	官公署の事業	人事委員会	平成30年1月31日
廃止	県南家畜保健衛生所	官公署の事業	人事委員会	平成30年1月31日
廃止	いわき家畜保健衛生所	官公署の事業	人事委員会	平成30年1月31日
決定	中央家畜保健衛生所	官公署の事業	人事委員会	平成30年2月1日

(2) 平成30年2月1日現在の号別区分と労働基準監督機関

労働基準法別表第1の号別区分と労働基準監督機関

監督機関	号別	主な業種	事業所名
人事委員会 (単純労務職員については労働基準監督署)	12号	教育研究調査	危機管理部 消防学校
			生活環境部 環境創造センター(環境放射線センター、支所)
			保健福祉部 総合衛生学院、衛生研究所(支所(2))
			商工労働部 テリアア카데미(3)、ハイテクプラザ(技術支援センター(3))
			農林水産部 農業総合センター(果樹研究所、畜産研究所(分場1)、地域研究所(2)、浜地域農業再生研究センター、農業短期大学校)、林業研究センター、水産試験場(支場)、内水面水産試験場
			教育委員会 教育センター、図書館、美術館、博物館、養護教育センター、学校(104)※1、郡山自然の家、会津自然の家
			警察本部 警察学校
労働基準監督署	3号	土木建設	土木部 建設事務所(8)(土木事務所(11))、港湾建設事務所(2)、流域下水道建設事務所(2)、大峠・日中総合管理事務所
	4号	旅客貨物運送	土木部 福島空港事務所
	13号	保健衛生	保健福祉部 保健福祉事務所(6)(出張所)、動物愛護センター(支所(2))、児童相談所(4)、障がい者総合福祉センター、若松乳児院、福島学園、郡山光風学園、大笹生学園、総合療育センター、女性のための相談支援センター、精神保健福祉センター
			教育委員会 盲・聾・養護学校寄宿舎(4)

※1 平成29年4月1日から休校となっている「双葉高校、浪江高校、富岡高校、双葉翔陽高校」を含む。

官公署の事業(労働基準法別表第1に掲げる事業を除く。)と労働基準監督機関

監督機関	事業所名
人事委員会 (単純労務職員については労働基準監督署)	知事部局本庁
	総務部 地方振興局(7)(県北地方振興局に吉倉出張所を含み、いわき地方振興局に内郷出張所を含む。)、東京事務所、大阪事務所、北海道事務所、名古屋事務所
	危機管理部 消防防災航空センター
	企画調整部 ふたば復興事務所
	保健福祉部 食肉衛生検査所
	商工労働部 計量検定所
	農林水産部 農林事務所(県南、会津農林事務所の森林林業部を除き、相双農林事務所に大柿ダム管理事務所を含む。)(7)(農業普及所(7))(林業指導所)、県南農林事務所森林林業部、会津農林事務所森林林業部、水産事務所、病虫害防除所、家畜保健衛生所(4)
	土木部 ダム管理事務所(1)、あぶくま高原道路管理事務所
	議会事務局、教育庁、警察本部(県民サービス課、教養課、厚生課、留置管理課、監察課、少年課、生活環境課、地域企画課、捜査第三課、組織犯罪対策課、鑑識課、科学捜査研究所、機動捜査隊、交通規制課、交通指導課、運転免許課、交通機動隊、高速道路交通警察隊、警備課、機動隊)、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、人事委員会事務局、労働委員会事務局、収用委員会、海区漁業調整委員会事務局、内水面漁場管理委員会
	教育委員会 教育事務所(7)
	警察本部 警察署(22)、分庁舎(7)

2 職権行使の実績

人事委員会が労働基準監督機関の職権を行使した実績は次のとおりである。

(1) 実地調査

実施時期：平成29年8月18日から8月30日

調査対象所属：7カ所（知事部局4カ所、教育委員会2カ所、警察本部1カ所）

調査対象職員：35人（7所属×1所属あたり5人）

※調査対象所属で超過勤務時間が多い職員の中から選定

調査項目：（所属）超過勤務の状況・原因・取組、休暇取得状況、健康診断受信状況、
両立支援制度に係る取組など

（職員）超過勤務縮減に向けた所属の取組についての考え、休暇取得状況、
両立支援制度の活用など

(2) 各任命権者人事担当課長に対する申し入れ

実施回数：4回

実施内容：（平成29年12月）勤務条件実態調査及び実地調査の結果に基づき、長時間労働是正及び職員の健康保持、両立支援の推進等、勤務条件等改善の取組を求めた（知事部局・教育委員会・警察本部 各1回）

（平成30年2月）教育委員会に対して策定したアクションプランの内容及び進行管理の方法を確認し、その確実な履行を求めた。

(3) 総括安全衛生管理者・安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告

総合安全衛生管理者 1件（知事部局）

衛生管理者 54件（知事部局9件、教育委員会27件、警察本部18件）

産業医 31件（知事部局12件、教育委員会8件、警察本部11件）

(4) 定期健康診断等結果報告

定期健康診断結果報告書及び心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書（ストレスチェック）について、各任命権者より全ての所属の平成28年度結果報告を受領した。

(5) 36協定の届出の受理

官公署の事業（労働基準法別表第1に掲げる事業を除く。）に従事する職員以外の職員は労働基準法第36条の規定により、36協定の届出をした場合において時間外勤務・休日勤務をさせることができることされており、当委員会では平成29年度中に対象公所135カ所から届出を受理している。

(6) 特定機械等

新たに設置され、または部分変更されたボイラー等について、労働安全衛生法、ボイラー及び圧力容器安全規則、クレーン等安全規則の規定により平成29年度中に落成検査等を実施した状況は次のとおりである。

また、平成29年度における性能検査の状況、関係法令による報告等の状況及び平成30年3月31日現在のボイラー等の設置状況は次のとおりである。

ア 落成等検査の状況

検査区分	事業所名	種類	基数	検査年月日	検査証交付年月日	使用目的・変更内容
落成検査	福島県庁（施設管理課）	前後組合せ形ボイラー	4	29.10.30	29.11.13	暖房
落成検査	県北農林事務所	ホイスト式天井クレーン	1	29.11.24	29.12.12	湛水防除
落成検査	小高産業技術高等学校	立て形ボイラー（水管付）	1	29.4.27	29.5.9	暖房
落成検査	警察学校	温水ボイラー	1	29.4.21	29.5.2	暖房

イ 性能検査の状況

区分	ボイラー合格基数	第一種圧力容器合格基数
計	58	22

ウ 報告等の状況
実績なし

エ ボイラー等の設置状況（平成30年3月31日現在）

区分 任命権者	ボイラー		第一種圧力容器		クレーン		備考
	事業所数	基数	事業所数	基数	事業所数	基数	
知事	9	17	6	15	1	1	
教育委員会	38	45	7	8	0	0	
警察本部	3	6	0	0	0	0	
計	50	68	13	23	1	1	